

単元名：

「単位量当たりの大きさ」

(全 6 時間扱い中 第 2 時)

授業日時 令和 3 年 11 月 9 日(火) 第 3 校時

授業学級 5 年 1 組

授業会場 学習センター

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

畳の数も子どもの人数も異なるときには、それらの数が揃っているときと同じ方法で混み具合を比べることはできないことを感じた子どもたちが、どちらの部屋の方が混んでいるのかを調べる場面において、一人が使うことのできる広さと混み具合の関係を、新聞紙を畳に見立てて調べることを通して、一人が使うことのできる面積が狭いときほど混んでいることに気づき、畳の数と子どもの数が共に異なる 2 つの部屋の混み具合も比べられるのではないかという見通しを持つことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点《教材》【評価】	時間
導 入	1. 前回の振り返り	・部屋の混み具合を調べたね ・AとCの比べ方が良く分からなかったよ ・やってみたい	「前はどんなことをしたかな」 ・畳の数も子どもの数も異なるときの比べ方が分からないということを共有 ・今回は前回の問題から一度離れることを言う 「まず、これはどちらが混んでいるかな」	10
	【学習問題】どちらの部屋が混んでいるのかな		〈問題Ⅰ〉 「どうして②の方が混んでいるのかな」 「本当？みんなでやって確かめてみない？」 ・ゲーム説明 ・グループごとにゲーム 「どうだったかな」 「①と②では何が変わったのかな」	
	2. 問題場面の把握	・②の方が混んでいるよ ・②の方が広いからじゃないかな ・畳がないよ		
展 開	3. 一人が使うことのできる広さへの気づき	・②は寝られるだけだったけど、①の方は、寝返りが打てたよ ・使える広さが変わった		
	【学習課題】たたみゲームから、一人が使うことのできる広さと混み具合の関係を調べよう			
	4. 問題Ⅱをグループで考える	・畳の数から人数を引いたら③の方が広いね	「じゃあ、これはどうかな」〈問題Ⅱ〉 ・グループごとにゲーム	10
展 開	5. ゲームの結果を共有、考察	・どちらも寝られたよ ・一人が使うことのできる新聞紙の数はどちらも 5 枚だね ・一人が使うことのできる広さが同じなら、混み具合も同じなのかな	「どうだったかな」 「一人が使うことのできる広さは③と④で変わったかな」	5
	6. 問題Ⅲをグループで考える	・Aの方が混んでいるよ	「これは、どちらが混んでいるかな」〈問題Ⅲ〉 ・グループごとにゲーム	10
	7. ゲームの結果を共有、考察	・Aの方が、6人で座るのが大変だったよ ・一人が使える面積が狭くなったからかな ・畳の数は同じで、人数が多いAの方が混んでいるよ ・小さくなる ・一人が使える畳の数が大きい方が、混んでいない部屋なのかな	「どうだったかな」 「どうしてAの方が座るのが大変だったのかな」 「混み具合はどうだったかな」 「畳の数が同じで人数が多いと一人が使える畳の数はどうなるのかな」	5
終 末	8. まとめ	・一人が使える畳の数が大きい方が、混んでいる ・一人が使える畳の数を調べればできそう	「一人が使うことのできる広さと混み具合の間には、どんな関係があったかな」 「前回登場したような畳の数と人数が違うときの混み具合は何を調べれば比べられそうかな」 「この時間で考えたこと、思ったことを書こう」	5
【評価(対象)】一人当たりの畳の数を比べれば、畳の数と子どもの数が共に異なる場合においても混み具合を比べられるという見通しを持つ				